

SUNTORY

岸谷五朗、スコッチの王道「バランタイン」を知る。

Talk about the Scotch

バランタインと芝居、王道が導く喜びとは――

「今夜の酒はおいしい、どうしてなんだろう。あ、そうか、今日一日いい仕事をしたからなんだって」

そう語る俳優・岸谷五朗の手に「バランタイン17年」。芝居の世界に入って37年、今も酒と共に自分を省みることができない。ペテランと呼ばれるキャリアを誇りながら、まだ道の途中だという。

俳優の仕事は孤独だ。たとえ1分であれ、0番という符丁で呼ばれるステージのセンターに立つため、365日の鍛錬に励む。隣接する0.5番とはほんの30cmしか離れていないものの、広がる風景は確実に異なる。岸谷もその景色を見続けるために、今も日々トレーニングを続け、時には多忙な合間を縫ってニューヨークへ渡り、観劇とレッスンに通う。そんなストイックな姿勢だからこそ、世紀を超えて「ザ・スコッチ」と呼ばれる「17年」に共感を覚える。「バランタインはずっとスコッチの王道を歩み続けている。そのた

めにブレンダーの方は努力を重ねてきたんでしょね」

静かに味わうのが「17年」なら、嬉しい席には「ファイネスト」。「17年」の風格を受け継ぎつつ、より軽快なスタンダードモデルだ。手頃な価格ながら、日々の愉しみに華を添えてくれる。

さまざまな原酒を配合したブレンドドウィスキーのバランタインは人の技の結晶。そこには「笑顔を届けたい」というつくり手の思いが込められている。酒も芝居も、0番という王道から見えるのは受け取る人の喜びに違いない。

Ballantine's

左：バランタイン17年／1937年の誕生以来、ウィスキー通から「ザ・スコッチ」として称えられる。華やかでまろやかな味わいが特徴。右：バランタインファイネスト／40種類以上のシングルモルトを巧みにブレンドしたスタンダードモデル。



ここでは語りつくせない
岸谷五朗さんによるスコッチ談義。
アエラスタイルマガジンwebにて好評公開中！

岸谷五朗 1964年生まれ。19歳から劇団スーパー・エキセントリック・シアターに在籍し、93年「月はどっちに出ている」で多くの映画賞を受賞、以降テレビ・映画で活躍する。94年に寺脇康文と結成した演劇ユニット「地球ゴージャス」は毎公演ともソールドアウト、通算動員数100万人を超えるほど高い人気を誇る。

Art direction: Yusuke Nagumo (newt) | Photograph: Yui Kawata (Rivera Inc.) | Styling: Eiji Ishikawa (TABLE ROCK STUDIO) | Hair & Make-up: Yurie Taniguchi | Text: Mitsuhide Sako | Direction: Shingo Fujioka (AERA STYLE MAGAZINE)



ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転 妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう お酒はなによりも適量です